

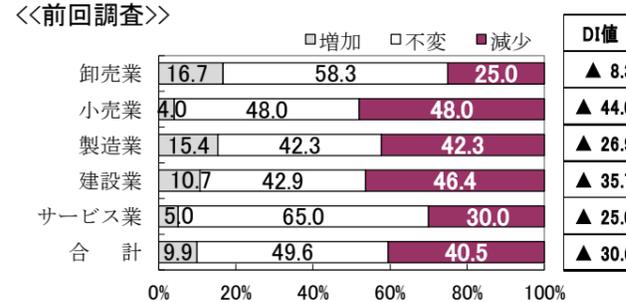
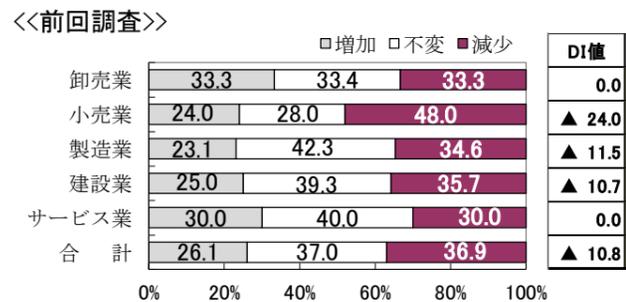
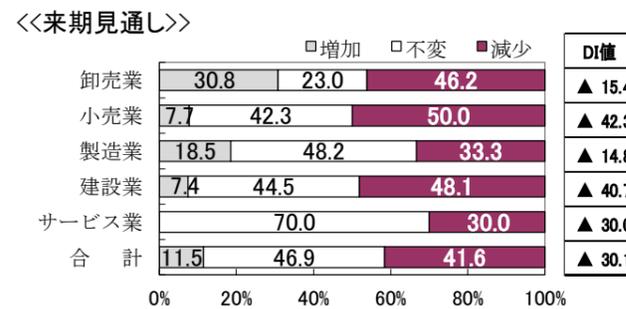
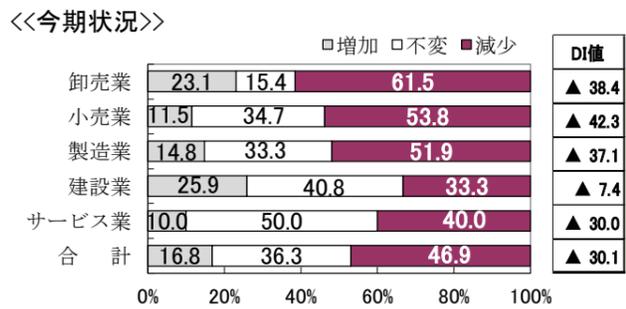
1月～3月期 会員景況調査結果

速報版

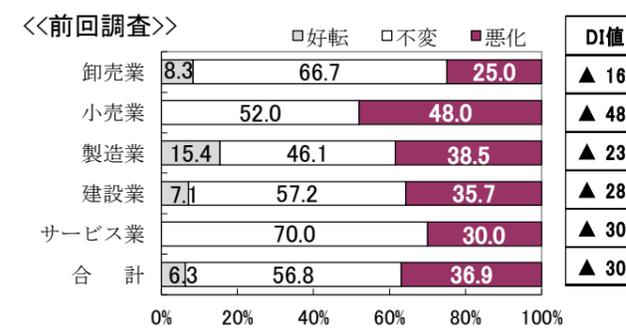
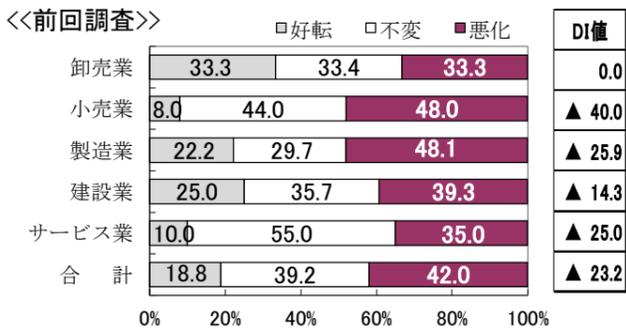
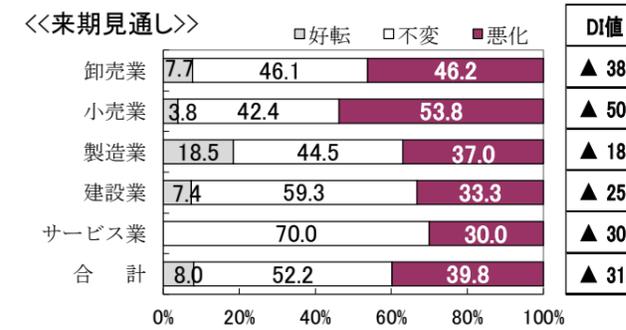
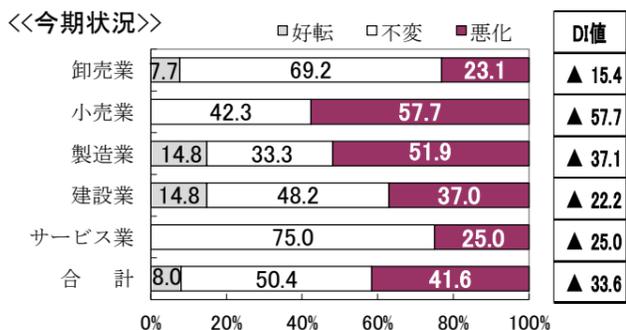
調査協力企業用

- ◇ 調査対象 小千谷商工会議所の会員企業の中から、卸売業・小売業・製造業・建設業・サービス業を対象に実施した。
- ◇ 調査対象期間 令和7年1月～3月期の実績及び令和7年4月～6月期の見通しについて調査した。（前回調査：令和6年10月～12月期）
- ◇ 回収状況 121 企業中、113 企業より回答を得た。（回答率 93.4 %）

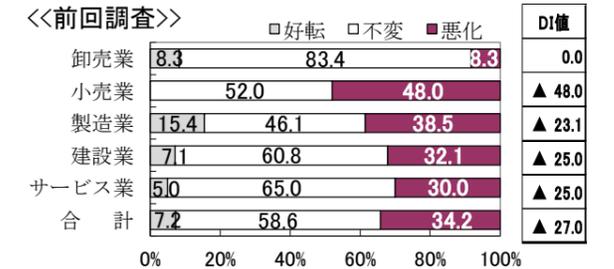
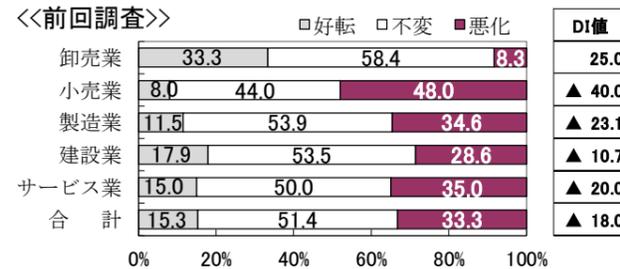
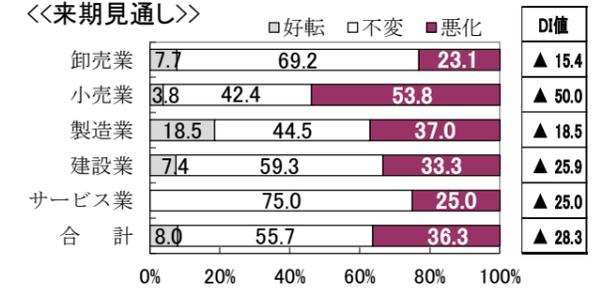
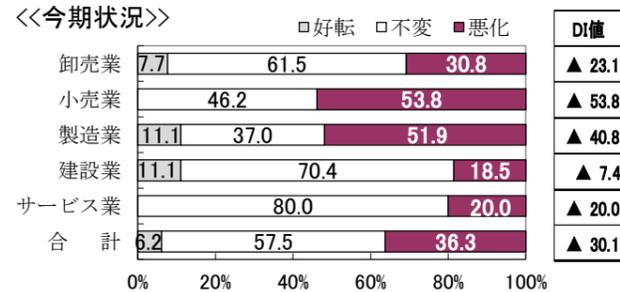
1. 売上高の動向(対前年同期比)



2. 経常利益の状況(対前年同期比)



3. 自社の業況(対前年同期比)



4. 業種別・今期の経営上の課題・問題点

業種	業種概況		
	1位 (割合)	2位 (割合)	3位 (割合)
卸売業	1位 (28.1%) 仕入単価の上昇	2位 (18.8%) 販売単価の低下・上昇難	3位 (15.6%) 人件費の増加
<p>＜＜コメント＞＞◆2月は地元で大雪、県外で気温低下、インフルエンザ等感染症の流行もあり極端に数値が下落傾向である。来期も多くの商品が値上げ予定で、消費にブレーキがかかると予想。（飲食料品卸） ◆仕入価格高騰でも販売価格への転嫁が困難。（食料品卸）</p>			
小売業	1位 (19.7%) 消費者ニーズの変化への対応	2位 (18.0%) 仕入単価の上昇	3位 (16.4%) 人件費以外の経費の増加
<p>＜＜コメント＞＞◆消費者の財布のひもは固く、買い控えて売上が厳しい。（飲食料品） ◆雪、悪天候の影響で売上減少。（切花等） ◆ネット販売やテレビショッピング等の影響で店舗の売上減少になっていると思われる。（家電製品）</p>			
製造業	1位 (17.9%) 原材料価格の上昇	2位 (17.0%) 需要の停滞	3位 (13.4%) 人件費の増加
<p>＜＜コメント＞＞◆メンテナンスの受注が増えているが、新年度目前に設備等の見直し依頼もきているので今後期待したい。ハローワークで継続して求人しているが音沙汰なく、自社PR方法を模索中。（機械器具） ◆2年程前から加工賃が横ばいのため、必要経費の上昇分がそのまま損益に繋がっている。設備投資が出来る体力もないため、仕事を失う覚悟で工賃交渉を行っている。（衣服）</p>			
建設業	1位 (27.7%) 従業員の確保難	2位 (16.1%) 材料価格の上昇	3位 (13.4%) 熟練技術者の確保難
<p>＜＜コメント＞＞◆社員募集するも人が集まらず、給料だけ伸びて中小企業は苦しい立場。（内装工事） ◆ガスの民営化にともない、大きな工事も減少し売上が伸びない。（設備工事） ◆建築基準法改正4号特例の見直しによる建築確認・検査・省エネ基準の見直し等で今後の工事単価上昇への影響が心配される。（総合工事）</p>			
サービス業	1位 (25.8%) 人件費以外の経費の増加	2位 (21.2%) 材料等仕入単価の上昇	3位 (13.6%) 店舗施設の狭隘・老朽化
<p>＜＜コメント＞＞◆ガス、水道料金の政府支援が助かった。今後も継続を希望。（洗濯） ◆エネルギー価格、米、食料品が大幅に高騰したためなかなか売上に繋がらない。（飲食） ◆顧客の来店頻度の間延びが気になる。（美容）</p>			

DI値(景況判断指数)について

DI値は、売上・採算・業況などの各項目についての判断を表す。ゼロを基準として、プラスの値で景気の上向き傾向の回答割合が多いことを示し、マイナスの値で景気の下向き傾向の回答割合が多いことを示す。従って、売上高などの実数値の上昇率を示すものではなく、強気・弱気などの景気感の相対的な広がりや意味する。

$$DI値 = (増加・好転などの回答割合) - (減少・悪化などの回答割合)$$

本調査結果〔速報版〕を当所HPに掲載しております。次回調査は5月の予定です。今後ともご協力をお願いいたします。